
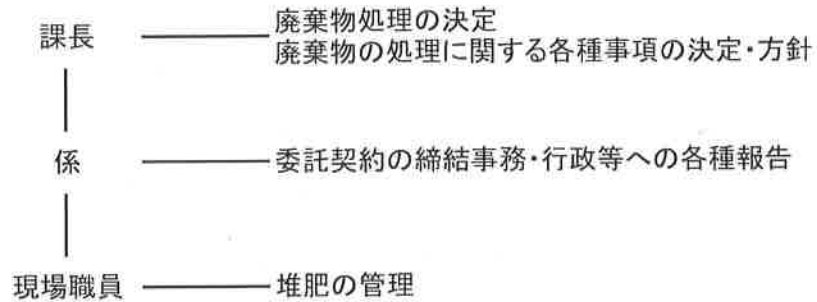


産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月17日	
大分県知事 佐藤 樹一郎 殿	
<div></div>	
提出者 住 所 大分市花園三丁目2番10号 氏 名 大分県農業協同組合 代表理事理事長 平間 悟 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 097-546-1254	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大分県農業協同組合 直入肥育試験研究センター
事業場の所在地	竹田市直入町大字長湯8572番地
計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年4月1日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	01 農業
② 事業の規模	肥育牛 300頭
③ 従業員数	3名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜の糞尿：自己で堆肥化 家畜の死体：処理業者へ委託処理

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体
	排 出 量	2693.0 t	2.2 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体
	排 出 量	2790.0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1812.4 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1877.7 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	880.6 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	912.3 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	② 【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体
	全 処 理 委 託 量	t	2.2 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 家畜の死体は、処理業者に委託し処理		

(第5面)

③ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体
	全 処 理 委 託 量	t	0.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 家畜の死体は、処理業者に委託し処理		
※事務処理欄			